

総務文教委員会記録

令和3年4月8日（木）

10時04分～12時07分

全員協議会室

【委員】 西村委員長、芦谷副委員長
三浦委員、西川委員、上野委員、永見委員、西田委員、牛尾委員

【委員外】

【議長団】

【事務局】 下間書記

【議題】

1. 【取組課題】 こどもの可能性を育む幼児教育について（委員間で協議）
 - (1) 公立幼稚園統合方針で示された「新たに実施を予定している保育サービス」
 - ① 預かり保育
 - ② 通級指導教室
 - ③ 給食
 - ④ 通園バス
 - (2) 新園を建設した際、給食を自園方式にした場合にかかる経費
 - (3) 幼児教育センターが市へ移管された後の方針や体制、業務内容
2. その他

○次回開催 4月16日（金） 10時00分 全員協議会室

【議事の経過】

[10 時 04 分 開議]

西村委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は8名で定足数に達している。レジュメに沿って進めていく。

1. 【取組課題】こどもの可能性を育む幼児教育について（委員間で協議）

西村委員長

先日3月29日に執行部から説明を受けたことを再度、確認した後に、16日にこちらから2項目ほど調査をお願いしているし執行部との話し合いの場を持ちたいと思っている。今日はこの前受けた話をどう受けとめたかと、それを受けてこちらとして統合の具体的方針について固めるために話を進めていきたい。

29日に受けたレクチャーの中身についてそれぞれ確認し合いながら、どのように感じたかについて意見を出し合っていたきたい。

私は率直に言って、執行部から現状を聞いたに過ぎないという印象を受けた。

今後こういう方針で各テーマについてやっていきたいといった具体的な話はほとんどなかったように思うし、それが現状かと受けとめた。今から検討するという話ではなかったかと。

(1) 公立幼稚園統合方針で示された「新たに実施を予定している保育サービス」について、先日の説明では預かり保育と通級指導教室と給食の説明があった。通園バスについては大項目2として説明があったように思う。このそれぞれ、皆の受けとめについて発言をお願いする。

まず①から④について、意見なり感想なりを述べていただきたい。

芦谷副委員長

①について、幼稚園にヒアリングしたときのことも含めて思うが、現場のニーズや園の思いをしっかりと行政に反映するというのが、なかなか現場の実態や声が市政に反映されにくいと感じた。預かり保育にしても、職員体制や時間や料金などいろいろあるのだが、これを乗り越えるためには一体どうするか、執行部がもう半歩足を踏み出すような提言を我々がしてはどうか。

西村委員長

芦谷副委員長から感想めいた話があったが、そういうざっくりした感じではなく、例えばどういうところでそう感じたのか。できればそういう形でお願いします。

芦谷副委員長

この問題を提起して各部と教育委員会と健康福祉部とで話をしてみて、やっと尻に火がついたところがあり、どうしても備忘策に終始していて、ヒアリングもして説明も聞いたが、これというものが見えなかった。

西村委員長

預かり保育は14時から17時半まで、時間あたり80円が夕日ヶ丘幼稚園の場合。いわゆる登園前の預かりについては、これも夕日ヶ丘幼稚園の場合で7時50分から8時45分までという扱いになっている。この預かり保育を10%が利用している。この預かり保育に対応する職員体制として二人必要だと。一人は正規職員でもう一人はパート扱いという職員体制になるだろうという説明だったように思う。一人は正規職員ということは、今の先生がそのまま延長で一人、もう一人の短時間勤務については新た

に雇う体制になるのではという話だったように記憶している。

安城保育園は17時までとしているが、実質は16時で帰る扱いになっている。料金はばらばらの状態で、決して一律ではないとのことだったように思う。

大体皆の記憶やメモと照らし合わせて、この際言っておいてもらえたら嬉しいのだが。

西川委員

全体を通しての話でもあるのだが、今回の資料で添付してもらった要望書、ずっと前から同じ要望が続いており、同じ回答が繰り返されている。今回改めて我々委員会がヒアリングしたが、執行部でも現状や他市の状況を調査しているのはわかったのだが、もう遅きに失しているというか。各園の人数が少なくなった状態、時点でこのサービスをするのに費用がかかる。少人数の3園に対して同一なサービスを提供するのが、今となっては難しくなっているのが現状だと思う。今は統合後に実施することとなっているが、こうなった以上、そういう方向にならざるを得ないという感想を持っている。預かり保育に限らず全体的な話である。

西村委員長

西川委員が言われるのは、今となっては既に遅いという受けとめなのか。

西川委員

ええ、特に預かり保育。今となっては遅くてやりにくくなっている。各園が少ないこの状況で預かり保育にまた人員配置をするのは、確かに施策として、また費用対効果として、やりにくくなっている。もっと人数がいて、この費用をかければという状況なら各園で何時でもやればよいが、各園が少ない状況でまた人を配置するのは難しいというか、財政的な面で費用をかけたいと言にくい状況に陥っているので、遅きに失したと思っている。

西村委員長

理解した。

牛尾委員

想像だが恐らく教育委員会当局は、所管委員会がここまで熱心に幼稚園問題を取り扱うことは想定外だったのでは。僕らが扱えば扱うほど、いかに無策であったか、放置していたかがわかってきて、今となって統合前にいろいろなサービスをするのはいろいろな意味で難しいだろうというところまで来てしまった。だから統合によって何とかしたいというのが、ぎりぎりの執行部の考え方なのかという見立てをした。

もう一つ、公立幼稚園は1園は残すべきだと思っているという言葉があるが、非常に中身はむなし。

公務員は全体の奉仕者だから、それぞれの職場に使命感を持って、このことを何とかしなければいけないという熱い気持ちを持っている職員が教育委員会にはいないのかなと、つくづく感じてがっかりした。

そういうことがありながらも、それを踏まえた上で一定の提言はすべきだろうと。執行部の目を覚ますためにはある種のインパクトを与えるような提言をしないと、このままずるずる行ってやがて子どもがいなくなって、幼稚園は残そうと思っていたが子どもがいなくなった状況が見えてくるので、それだけは阻止したい。

西田委員

今、牛尾委員が言われた意見とほぼ同じである。要望書の中にも、預かり保育は県内でもほかのところはほとんどやっている。私も出雲の幼

稚園の情報も外部から聞いたりしたのだが、いろいろな要望に皆、市がすぐ応えている。恐らくこの要望書の中にも預かり保育に関しては実施していないのは浜田市だけだと聞いている、という要望もあるように、浜田だけが取り残されている。それは何かというと、牛尾委員が言われたように熱い思い。幼児教育で小さいときから子どもたちを、心の底から人として育てる大事なときに、幼児教育がいかに大事かという熱い思いを持った職員ももっと育ててほしいと痛感している。

永見委員

皆が言われたとおり、この前の説明の中では何々について検討するとか、検討しているという結びが多かったように思う。その中で預かり保育については利用者の状況が読めないから今からアンケートを行うことを考えているという話も項目の中にあっし、また統合後に預かり保育については対応する、内容には必要な事項であるという話も伺っているので、教育委員会のそのあたりの見解は実際どの程度考えておられるのかわからないところが多分にあった。

西村委員長
上野委員

感想でもよいので皆に意見を言ってほしい。

この前の執行部との話の中で、何となくやる気が全く感じられなかったというのが一番だった。また、このままでいくと5年先の統合のときに子どもがいるのか、どうやって子どもを確保するのかという気がした。これから統合して何かするまでに、どういうことをすればよいかが一番大事な気がした。

三浦委員

預かり保育については私はやるべきだと思うが、ただ、財源がどのくらい必要なか正確に把握しないと、執行部からの説明にもあったように、現在の3園で同時に始めるとなればそれだけの人員を増やすことになるので、そこはきちんと把握した上で提言するべきと思う。

それを踏まえて、財源があまりに大きすぎて、執行部も統合幼稚園を考えるとときにだったら検討が可能だというニュアンスの発言をされているのだと思うが、1園になったときに充てられる人員、それに伴う財源の確保だったらできるという現実的な話なのだと思う。それを踏まえて、1園でない現実的に我々の中でもできないのではないかという判断がされるなら、統合幼稚園の計画を例えば早めるべきだとか、そのように提言するべきではないかと思う。

あと保護者の方から預かり保育はやはり必要だという声が非常に多いのは、この間の話でもあったので、そのニーズに基づいて対応をどうやったらできるのか、どういう環境を整えればそれが実現するのかを、この委員会で検討するべきかと思う。

あと、預かりをすることで生じるリスクというかデメリットというか、そのあたりの質問に対しての把握が、答弁としてあまりなかったように思っていて。これは実際にこれからのアンケート結果などを見たり、やってみないとどうなのかは正直わからないところはあるが、物理的にサービスができてしまうと、本来預ける必要がない場合に預けてしまう可能性も想定される。これはほかの地域でもそういうケースがやはり出ているので、そうしたことも踏まえて預かりニーズがどのくらい膨らんでいくのかは、アンケートからは正直読み取れない部分もあると思う。アンケート結果だけを見て預かりをすべき・すべきでないというのも少し、

西村委員長

判断材料としてはそこだけではないように個人的には感じた。

私も何度か言ったような気はするが、幼稚園を統合することを行財政改革の一角に据えて今までずっと議論に上げてきたことが、結果論ではなく明らかに間違いではなかったのかという思いがしている。明らかに相反することになると思う。要するに新たなサービスを実施しようにも、片や統合しようという方針があるわけだから、縮小と拡大が混在し、矛盾する方向に行かざるを得ない。

最初から新たなサービスをやる気はなかったとしか私には受けとめられない。だから言葉の上では「検討する」という対応はしたかもしれないが、最初から統合まではやる気がない。そういう執行部の基本方針は大々的に掲げるか、掲げないかはおいておいても、基本的には持っていたと思っている。結局、保護者の要望にも応えることがないから、ほかとの競争に負けていく。少子化の一番典型的なあおりを受ける、影響を受ける格好で、保育園は少子化にもかかわらず伸びていく傾向が10年以上続いてきた時代に、幼稚園は凋落の一途をたどっていった、そういう傾向が顕著な状況だったように思う。

西川委員が、今となってはどのサービスも、時すでに遅しという印象を持っているということと言われた。預かり保育も給食も全部の園でやるというのも考え方だろうが、預かり保育はどここの園、給食はどここの園というやり方もあるのではと漠然と思っている。3園が同じサービスをやる必要はない。特に通級はどこでもできるサービスではないと思うので。小学校でも今は2校しかやってない。人数との関係もあり、やるとしても1園くらいの需要しか見込めないのではと思う。

新たな三つのサービスか四つのサービスかわからないが、このサービスを新たに始めることが本当に保護者や子どもにとって魅力的なもので、そのために幼稚園に通う人が増える要素になるか。私はなると思っていたが、西川委員の受けとめはそうではない、疑問符を突きつけられたような格好になっているのではと思う。ここは極めて重要なポイントではないかと思うので、意見をそれぞれ言ってもらわないと。

牛尾委員

三浦委員も言われたように、具体的なことをするのに費用がどのくらいかかるかは見えてないと、そのコストによって我々が強く言うべきかどうかが見えてくるのではないか。曖昧に、やればよいと言っているだけの話ではないところへもう来ているので、恐らく西川委員のお考えも三浦委員のお考えも、新園を少しでも早くつくってサービスを充実してもらうことがトータルでいえば現時点における一番の理想ではないかと感じる。

少し長いサイクルで見ると幼稚園や保育園の統合問題は、浜田市の財政状況が厳しいときに行革こそが正義だという風潮があり、振り返ってみると、それをずっと強力に推し進めてきたからその辺から教育委員会が少し引けてきたのかと。

例えば美術館や子どもの教育と、お金のあるなしは切り離して考えないといけない時代があったのだが、そういうことをあまり深く考えずに行革をずっと進めてきたというのが、この15年、20年の中にあっただのかなと思う。教育委員会できえ、本音は、幼稚園は統合したくなかったが平

成16、17年ごろ、教育委員会でさえ統合はやむを得ないと執行部に押し切られた。そういう過去の歴史があって教育委員会はそうなったのかと感じてしまった。今回のことはそういうことが遠因としてあるのだろう。それはそれとして、委員長が言われた、どこかの園で何かをやるというのはなかなかこれも難しいのではないか。給食を3園同時になど難しいと言っていた。それは無理だと。

教育総務課長は統合した後には新園と言ったが、本当に1園残したいのであれば、1年でも前倒しで新園をつくられるべきではないかというところへ持っていくような話をしたほうが現時点ではよい気がする。

西村委員長

私もどのように話を進めていけばよいのか今迷っている。一旦休憩する。

[10時 42分 休憩]

[12時 01分 再開]

西村委員長

委員会を再開する。

大変長い休憩を取ったがこの間に皆で話し合っただけの結論めいた方向性として、以前2月15日に確認した幼児教育環境の整備についてということで、大きく1番目は理念の明確化、2番目が市立幼稚園の統合問題と幼稚園教育のあり方についてということで、二つの大きな柱で提言としてはまとめようということで、かなり文章化も進んではいるが、やはりこの方向でまとめていこうということで確認が取れたように思う。

今度16日に予定している委員会では、この前の執行部からのヒアリングのうち、最後の幼児教育センターの設置についての考え方を聞くだけで終わった形になっているので、これについて引き続き質疑から始めることにする。

幼児教育センターの報告、説明に対しての質疑、皆からあればそれをまずやってもらい、幼児教育センターの方向性について確認してもらい、その後、最後に私から調べてほしいものを二つ上げている。

執行部には、この16日にそれについての報告を受けるようにしている。一つは試食という形が法的に大丈夫かということ。法的に大丈夫ではないものを上乗せして回数を増やせという話にはとてもならないだろうから、そういう心配の有無をはっきりさせたほうがよいと思って、それについて執行部の調査報告を受ける。

もう一つはコロナの関係もあって、施設を新設する場合でも改修する場合でも、国のほうで一人あたりの面積を変更する動きがあるのかないのか。あるとすればどういう方向で考えているのか。そういう国の動きについてわかる範囲で調べて教えてほしいというのが私の趣旨だった。それによって施設の大きさが大分違ってくるはずなので。その2点を注文しているのでその報告があると思うし、当然その質疑も含めてやることにしたい。

その後どうすればよいか。執行部はそれで終わりにして、新園建設に対しての皆の考えと、幼稚園サービスをどのようにお考えか、という大きく二つについて、できるだけ文章化した形でまとめてきていただくと

うれしい。以上でよろしいか。何か不明な点があるか。

(「なし」という声あり)

では以上で終わりたい。16日は10時から行うのでぜひ出席いただくようお願いする。

以上で総務文教委員会を閉会する。

[12 時 07分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 西村 健 ⑩